

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	春日井市第一希望の家		
○保護者評価実施期間	R8年2月1日		R8年3月11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	R8年3月16日		R8年3月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	R8年2月1日		R8年3月19日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援センターとしての関係機関との連携体制が行えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援、計画相談支援担当者との頻繁な情報交換を行ない、支援に活かしている。 ・自立支援協議会等に参加し、地域ニーズ等を把握し、情報提供ができています。 ・乳児から18歳までの継続的な関りができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な情報交換・会議に加え、必要に応じて随時情報交換を行い、本人及び家族支援に反映させていく。 ・地域課題を含めて検討していける。 ・18歳まで長期的に関わっていける。
2	親子療育の実績が長く、家族支援に力を入れている。	<ul style="list-style-type: none"> ・家族に寄り添った支援ができています。 ・子ども・保護者共に支援が行える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの相談だけでなく、家族全体の相談等を行える。 ・親の関わり方や親の子どもの受容について寄り添える。
3	経験豊富な臨床心理士と公認心理師を持った職員を配置している。	<ul style="list-style-type: none"> ・家族支援を丁寧に行っている。 ・専門性を活かし、助言アドバイスを行っている。 ・必要に応じた発達検査やアセスメント方法が行える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族まるごとの支援を行える。 ・子どもの特性等に合わせたアセスメントが行える。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者勉強会や保護者交流会等の周知ができていない。	保育所等訪問の利用者は頻繁に会えないこともあり、周知することに難しさがある。	今年度導入したツールを利用して周知活動を積極的に行う。
2	保育所等訪問の訪問支援員の人材育成が間に合っていない。	社会福祉協議会の職員としての配置で定期的な異動があり、児童分野に特化した人事育成が難しい。	いろいろな分野を知る人材育成はできるが、保育所等訪問についての人材育成について検討を行う。
3	作業療法士や言語聴覚士の専門員の常勤がない。	困難ケースや高まる保護者ニーズ、地域課題に取り組めないことがある。	児童発達支援センターの職員配置を検討し、常勤職員の採用を検討していく。